
「桜花舞い散る昼の夢」

結城 カイン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「桜花舞い散る昼の夢」

【Nコード】

N1262K

【作者名】

結城 カイン

【あらすじ】

シェークスピアの「真夏の夜の夢」を絡めてみました。

（前書き）

去年の春書いたものです。

イラストを見ながら楽しんでもらえれば幸いです。

これはこれは、こんなところでおひとりでお花見ですか？

失礼致しました。妖精王どの。いささかこの満開の桜に酔っております。

わが国インドではこのような盛りの桜にはお目にかからぬ故。

恋の病などにはくれぐれもかからないよう用心された方がよい。
この森にはあらぬ企みが潜んでいるかも知れぬからね。

そう…でも私にはあなた様が一番用心するべき相手ではないかと

…

はて、あなた様の大事なご用件はなんでしょう。

それはな、おまえを貰い受けようと…女王の許可なくしてはいかなものであるとは存じて居るが…

いかんせん、こつ目の前におまえを見てしまったら…恋の鞘当など巡らさずに…

どうだろう。わたしの小姓になつてはくれまいか。

それではお誓いくださいますか？

何に誓えば良いのだ？

その御身に誓いなさつて。今生の情けを下さると…

それなら、この身に賭けて、この世のすべてに賭けて、神に賭けて、未来に賭けて、この桜に賭けて、おまえを幸せにすると…誓おう。

妖精王の為すままにどうぞ召抱えてくださいませ。私の身はあなたのものに…

暁と黄昏の女神に誓って、おまえを守ろう。

と、いう寸劇をやるうと思っただけど、どうだろう。

君と僕でなら…悪くはないね。

では、舞台から降りても、俺の小姓でいてくれるかい？

小姓ではなく…恋人ならば…いつまでも…

桜の森の満開の下、恋人達は誓い合う。

そろそろ妖精どものさまよい歩く頃合。

恋人たちの新床は桜色に染められた。

万事めでたく納まりましょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1262k/>

「桜花舞い散る昼の夢」

2010年10月28日04時37分発行